

佐倉市空家等対策計画(案)に対する意見公募に寄せられた意見
市の考え方

意見者1 (回答案)

| 意 見 | 対 応 |
|--|--|
| <p>① 少子高齢化による人口減少と高齢化が進む中で、将来的には自治会運営にも限界がある。個人のプライバシーの問題があり、自治会を中心とした「共助」についてあまり期待できない。</p> | <p>空家等の対策を進めていくためには、所有者の自発的管理や地域住民等との相互協力を促すとともに、現状や課題を踏まえ、対応の強化や体系化を図ることが必要と考えており、ご心配されている地域コミュニティの維持にも資する計画となっております。</p> |
| <p>② 不動産にかかる昨今の相続問題や現行の登記制度を鑑みると、自助の強調では問題が解決しないのではないか。</p> | <p>空家等問題を個人の問題としてではなく、地域社会全体の問題として捉え、「自助（所有者等の責務）」、「共助（地域住民、事業者等の協力）」、「公助（行政の支援）」の観点から、「所有者」、「地域住民・事業者等」、「行政」といった多様な主体が、協働して対策を講じ、官民連携により取り組んでまいります。</p> |
| <p>③ 市は市民の身近な自治体として自治の主役としての本領を発揮していく必要があると思う。単に空家・土地所有者不明問題としてではなく、ダウンサイジング社会の中で、佐倉市は、近く策定する第5次総合計画で、この問題をまちづくりの観点からしっかり討議してほしい。パブコメでない市民参加方式も工夫してみたらどうか。</p> | <p>ご意見につきましては、次期総合計画の策定において参考とさせていただきます。</p> |